

# 三木町について

- 人口：27,200人（高齢化率：29%）  
県都高松市のベッドタウンとして人口減少は緩やか
- 面積：75.78km<sup>2</sup>
- 主な産業：希少糖発祥の地  
農業（いちご）  
アクリルパネル製造
- 伝統芸能：獅子舞



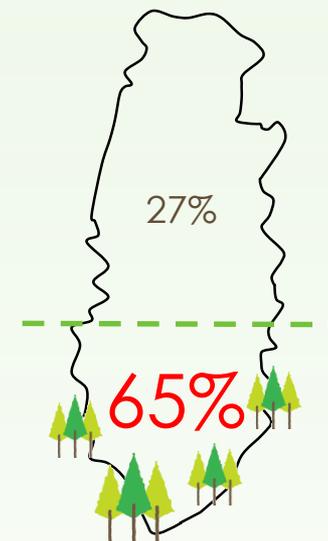
# 地域の現状・課題

- 山間部の高齢化率：65%

町の中心部は、高松市のベッドタウンとして新興住宅地が継続的に整備

出生数：200人 ⇒ 小学校1年生の生徒数：250人

一方で、山間部は、集落の人口355人の内、子どもが1人という超高齢化

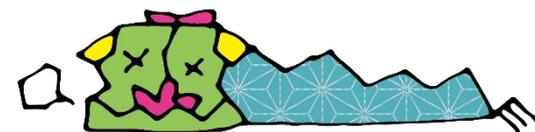


- 地域コミュニティの衰退（獅子舞継承の危機）

新興住宅地の整備による新住民と旧住民の希薄化・・・

地域コミュニティの衰退による集落の自治機能の低下。集落単位で構成される

本町の伝統芸能である獅子舞文化の継承も危機的な状況



# 地域課題の解決・関係人口の関与

- 山間部の集落が持つ地域課題の解決

- i 関係人口の持つスキルや想いの発掘
- ii 地域と関係人口とのマッチング
- iii 関係人口の関与による地域課題解決



- 本町の伝統芸能である獅子舞の担い手確保

都内で活動する「東京讃岐獅子舞」を活用した

- i 本町独自の獅子舞文化の継承
- ii 首都圏での関係案内人としての役割



# 実施体制

- ▶ 各課の垣根を越えて結成された関係人口創出プロジェクトチーム
  - リーダー：政策課職員、メンバー：住民生活課・健康福祉課・生涯学習課など

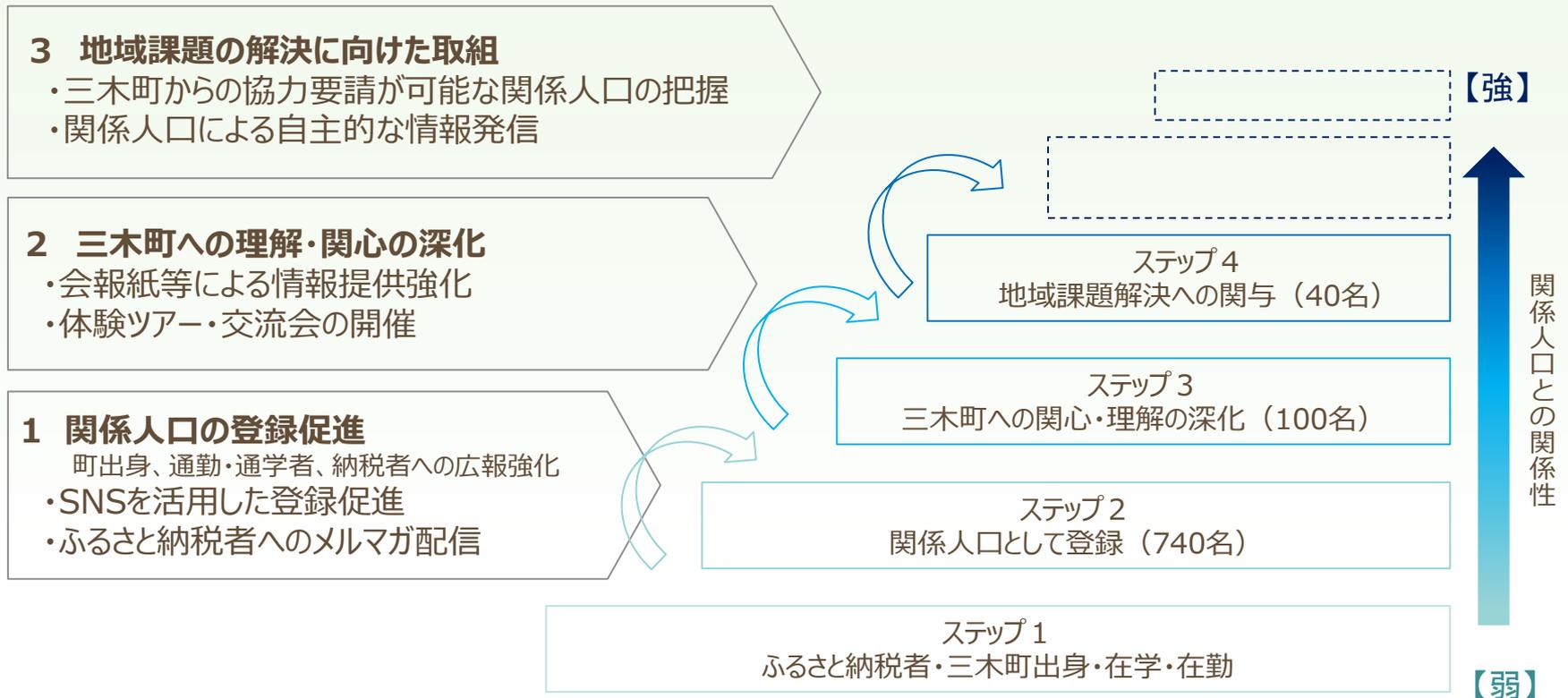


- ▶ 事業の継続性の確保とさらなる事業の推進
  - 意欲ある職員が**直営**で企画・運営。

# 事業の全体像

## ▶ 関係の階段（関係人口との関係性の深化度）

関係の各段階に応じた様々な情報や機会の提供、働きかけの強化等により、現在の関係性の継続、さらに上の段階へと関係性の深化を図る



# 1 関係人口への登録促進

## ▶ ふるさと納税者への広報

- ・ 税務課ふるさと納税係と連携し、ふるさと納税者へのDM配布時に制度チラシを同封

## ▶ 三木町出身者への広報

- ・ 転出者への会報紙の配布（500名/年）

## ▶ 関係人口が立ち上げたFBによる登録促進（情報発信）

- ・ FBを通じて関係人口の横のつながりを可視化：27名の登録者



FBページの創設者



FB「ふるさとと住民会議」

## 2 三木町への理解・関心の深化

### ▶ 会報誌の発行(年2回)

- ・ 掲載内容の企画、掲載先の取材、記事の校正などをPTメンバーで実施
- ・ 関係人口登録者へ配布



### ▶ 交流会・体験ツアーの開催 (年3回)

- ・ 町長・副町長お食事交流会

開催日：2019年11月4日 参加者：12名



- ・ 東京ワークショップ

開催日：2020年2月1日 参加者：20名



### 3 地域課題解決に向けた取組（地域編）

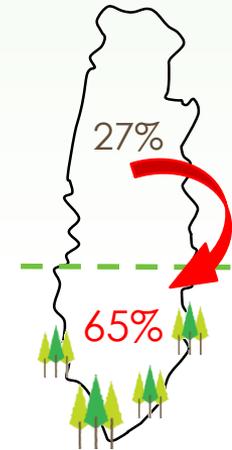
- 対象地域：高齢化率**65%**の山間部の集落

「今の活動が続くのは10年未満・・・。  
分かってても我々はどうすればいいのか。」



- 集落に関与した関係人口：県立三木高校の生徒6名

「ただいまって言ってくれる第2のお家」



### 3 地域課題解決に向けた取組（地域編）

#### ▶ 山間部の集落が持つ地域課題の解決にむけた取組み（フットパス）

フットパスとは・・・森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からある「ありのままの風景」を楽しみながら歩く道

歩くことで見えてくるその地域らしい風景や、それを守ってきた地域住民との交流が重要な要素

フットパスの副次的効果 ①地域経済の活性化（飲食など）②地域環境の保全（景観の維持）

・2019年10月9日 香川大学・三木高校ワークショップ

・ 11月27日 三木高校\_現地調査

・ 12月18日 三木高校\_現地調査

・ 12月27日 三木高校\_現地調査

・2020年1月26日 集落の清掃実施



### 3 地域課題解決に向けた取組（地域編）

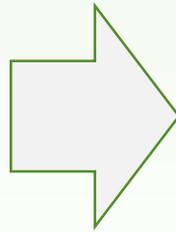
▶ 成果

「実は、山道が荒れてるの気になってたんや。  
これがきっかけできれいにするわ!」70歳代のKさん

フットパスコースの草刈・簡易な整備（景観の維持）



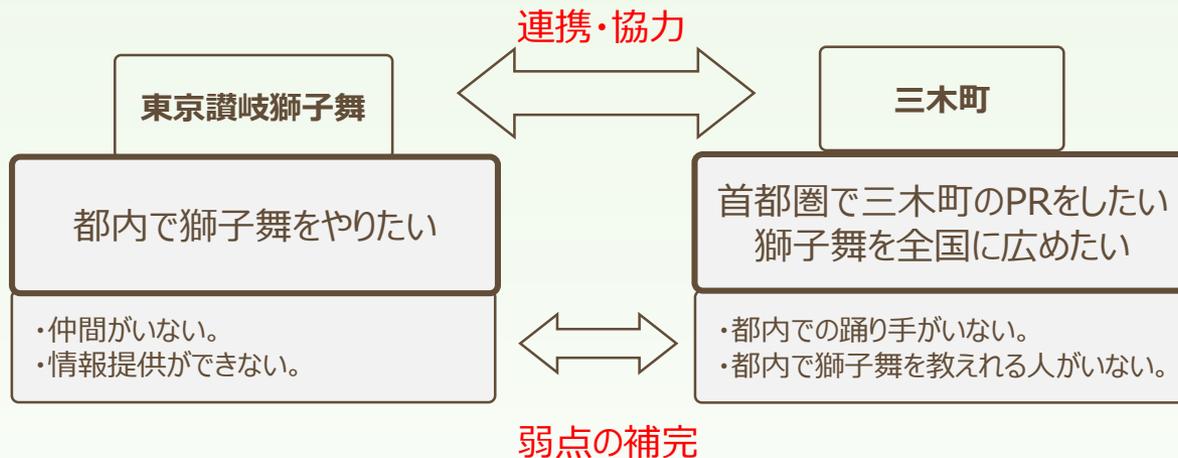
before



after

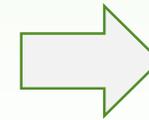
# 3 地域課題解決に向けた取組（首都圏編）

- ▶「東京讃岐獅子舞」による都内での讃岐獅子舞ワークショップの開催



2020年1月26日：移住・交流情報ガーデン

- ・関係人口による本町の伝統芸能獅子舞文化の継承



- ・関係人口が自ら提案し、さらに町のPRにつながる活動を町としてもバックアップしていく活動  
お互いに**Win - Win**な関係（相互連携）
- ・「東京讃岐獅子舞」発信で、関係人口同士の横のつながりを強化

# 今後について（次年度以降の取組み）

課 題	次年度以降の取組み
三木町への理解・関心の深化	
会報紙、体験ツアー等の企画内容が魅力発信に留まっている	町の課題を関係人口と共有できる広報戦略により課題への関心喚起を促す
地域課題解決に向けた取組	
地域課題の発掘	集落が認める課題の受け皿を創る
地域住民の関係人口への理解醸成	関係人口を活用した地域課題解決の広報、ワークショップの開催
首都圏在住の関係人口へのアプローチ	関係案内人としての「東京讃岐獅子舞」の活動推進



**長期的な目線で、持続可能な地域づくりを目指す**